

取扱説明書

ノーパンクタイヤ脱着機

# ノーパンクプレス

リフト標準装備

特許取得済



この度はノーパンクプレスをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。  
ご使用に先立ち、この取り扱い説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいで、いつまでも安全に効率よくお使い下さるようお願い致します。  
なお、この取扱説明書はいつまでも使用できるように、お手元に大切に保管してください。

お陰様で80年



製造販売  
株式会社 竹内技研製作所

〒136-0074 東京都江東区東砂8-7-11  
TEL:03-3644-0697 FAX:03-3699-0695  
E-mail: takeuchi\_giken@yahoo.co.jp

お陰様で80年



株式会社 竹内技研製作所

TAKEUCHI GIKEN Mfg. Co., Ltd.

# 安全上の注意 NOPUNCPRESS

## 1. 使用目的

この取扱説明書は当社製品の必要部品で、機械の安全や保守に関し重要事項が記載されているので、使用方法や指示等をよく読んでください。

**注意** 不適切な、不正確な、又は実情に合わない使用による故障や事故の責任を、メーカーは負いません。

## 2. 安全規定

本機の操作に際しては、特に訓練を受け又指定された人のみで行ってください。メーカーの承認の無い本機の改造や不適切な操作が原因と思われる損害について、メーカーはその責めを免ぜられるものとします。本機は爆発や火災の危険のない場所でのみご使用ください。

**注意** 作業中や保守点検時は、身の危険を避ける為に安全を守る服装、身なりをしてください。長いネクタイやネックレス、指輪等を着けないでください。

## 3. 輸送

梱包された状態の機械の輸送は、輸送パレットにフォークリフトトラックの爪を適切な場所に入れてから、移動してください。

**注意** 梱包状態の機械はクレーンやホイストで吊り上げないでください。

開梱した後、機械の移動の際は各角部をダンボール等の柔らかい当てもので保護するように注意してください。

### 機械の取扱/保管

梱包された機械を保管する場合は、乾燥した場所で、可能な限り通気装置の付いた場所で行ってください。

**警告** ここで薦めていない方法で機械部品を輸送することは絶対に避けてください。

梱包された機械の保管環境温度は0℃～+45℃です。

## 4. 開梱

梱包を解いたら、機械に傷や変形、外観上のダメージがないかチェックしてください。疑問がある場合は、使用せず直ちにお買い求めの業者に連絡してください。梱包材（ビニール袋、発砲スチロール、釘、ネジ、木製パーツ等）はお子様の手が届く場所に放置しないでください。怪我などの原因になる可能性があり、危険です。

**注意** 梱包材の中にアクセサリが入った箱はラッピングされていますので、梱包材と一緒に捨てないようご注意ください。

上記梱包材を廃棄する場合は、きちんと分類し、有害物及び有機物質に変わらないものは、正規の手続きを取り、指定された場所にて廃棄処理してください。

## 5. 組立及び始動

設置位置は作業者が機械や周辺域をよく見える場所としてください。作業者は危険回避の為にエリア内への外部の人や物の侵入を禁止してください。

## 6. 使用環境

機械に悪影響を及ぼす環境での使用、保管を避けて下さい。雨ざらし、高温・多湿は避けて下さい。

# 立ち入り禁止範囲 NOPUNCPRESS

1.5m×1.5m以上の範囲は立ち入り禁止

## 立ち入り禁止範囲



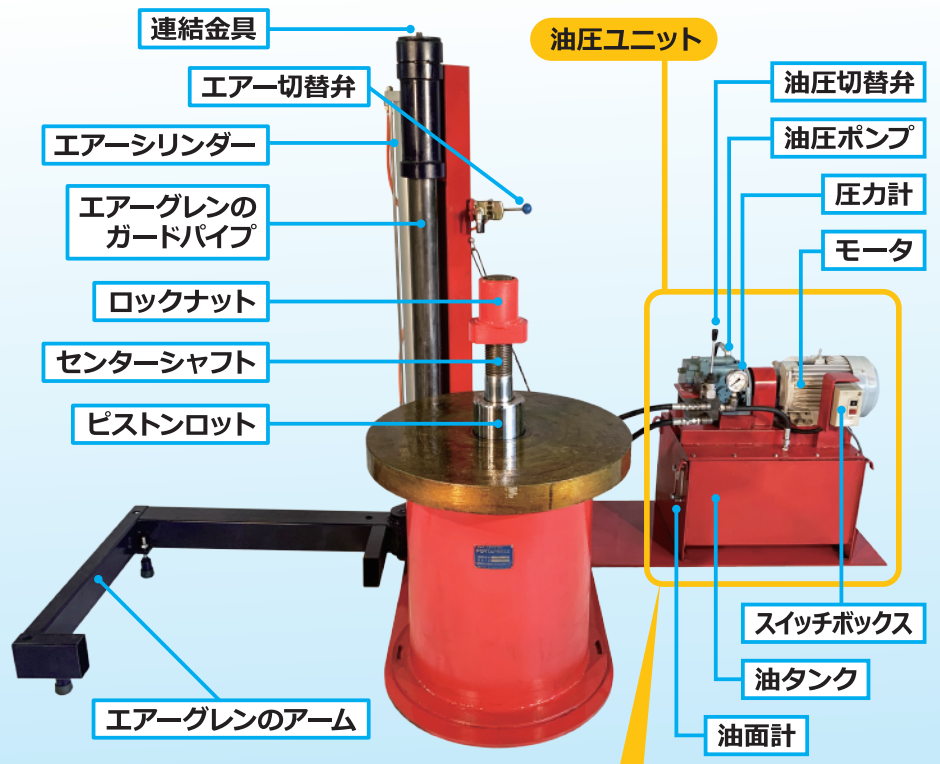
ノーパンクプレス本体の面から1.5m×1.5m以上の範囲を立ち入り禁止範囲として、エアグレン上昇時には絶対に入らないでください。この範囲には使用者が立ち入り禁止範囲であると分かるように、明確に表示してください。

使用者はエアグレンの上昇・下降の際には声掛けを行い、立ち入り禁止範囲に人がいないことの確認を行いながら作業を行ってください。エアグレンのアームは作動時以外は最低位置まで下降させてください。宙に浮かせた状態で放置するのは大変危険です。

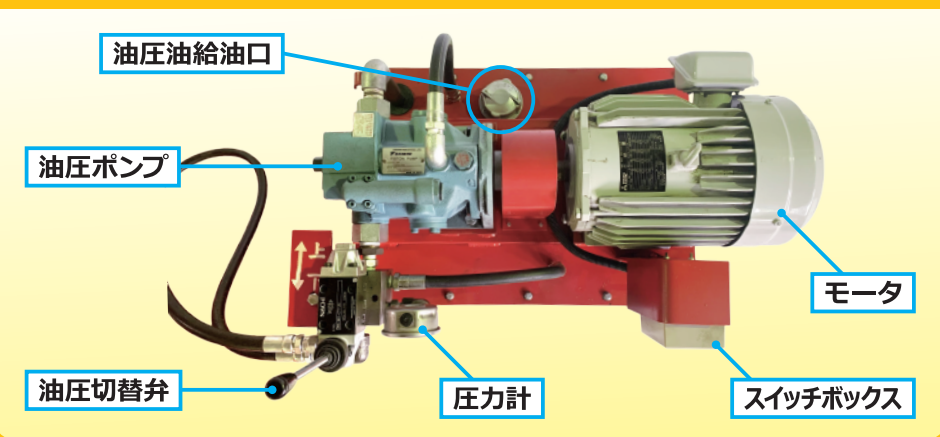
## 危険

- 本機起動中は『立ち入り禁止範囲』には絶対に立ち入らないで下さい。
- エアグレンの上昇時にアーム部分の下には絶対に立ち入らないで下さい。アームの下敷きになる危険があり、大変危険です。
- エアグレンの上昇時にアームとガイドパイプの間に近づかないで下さい。指や髪の毛など巻き込まれる原因となり、大変危険です。
- 作動時には連結金具とガイドパイプに触れないで下さい。指等が挟まれる危険があり、大変危険です。

## ノーパンクプレス正面



## 油圧ユニット上部



## 1. メインスイッチ



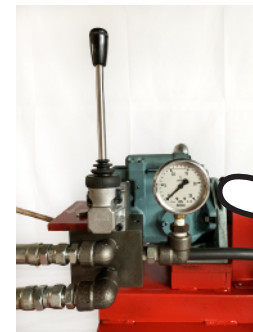
メインスイッチがOFFになっていることを確認。

(点検の際は**主電源が切れている**ことも確認してください。)

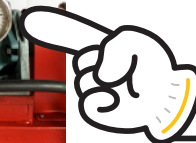


**主電源OFFボタン**

## 2. 圧力計

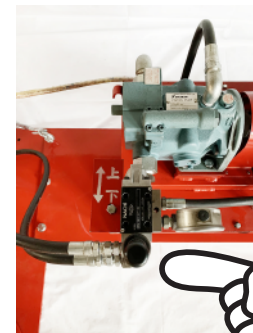


圧力計が**0MPa (メガパスカル)**を指している状態であることを確認してください。



**0メガパスカル**

## 3. 油圧切替弁



油圧切替弁が正面からも上部からも**曲がったり、傾いていない**ニュートラルの状態であることを確認してください。

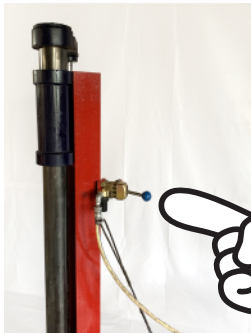
油圧切替弁・油圧ホース自体が変形してしまっている、油漏れしている場合はそのまま使用しないでください。



**ニュートラル**



## 4. エアー切替弁



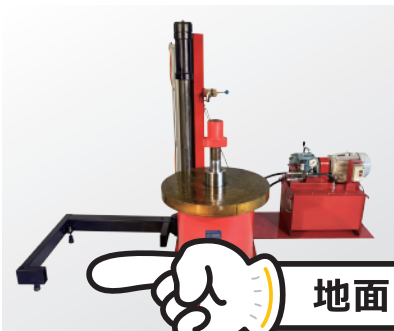
エアー切替弁が地面に対して平行になっている状態であることを確認してください。(この状態がニュートラル)

エアー切替弁自体が**曲がったり、折れたり、エアー漏れしている**場合はそのまま使用しないでください。



**ニュートラル**

## 5. エアークレンのアーム

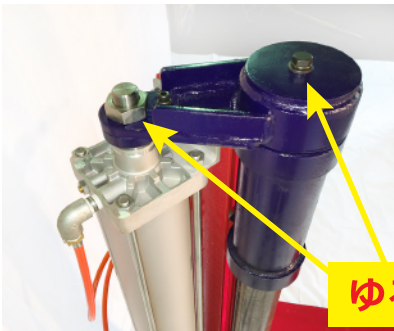


エアークレンのアーム部分が地面に水平についていることを確認してください。



**地面に水平**

## 6. エアークレン連結部分ボルト

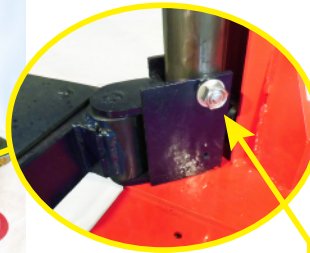


エアーシリンダーとエアークレン連結部の**ボルトにゆりみがないか、手で揺さぶりぐらつかないか必ず確認**してください。

緩みがあった場合はそのまま使用しないでください。

**ゆりみ・ぐらつき確認**

## 7. エアークレンアーム連結部分

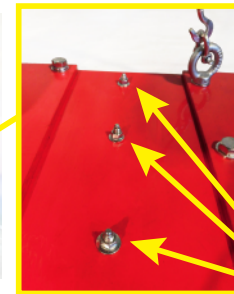


エアークレンアーム連結部分のボルトに緩みがないか、必ず**確認**してください。

緩みがあった場合はそのまま使用しないでください。

**ゆりみ確認**

## 8. ベース板連結部分ボルト・アンカーボルト



アンカーボルトが緩んでいないか必ず**確認**してください。

緩みがあった場合はそのまま使用しないでください。

**ゆりみ確認**

## 9. 油面計の油の量

適正量以上は油を入れないでください。

ここまでが適正量

油面計の半分

油面が半分以上を下げたら給油してください。

油面計の油の量が半分より少し上になっていることを確認してください。



**適正量**

半分以下になっているときは、油を足してください。

給油する際は適量を守ってください。

※油圧油は#32を使用してください。

### 警告

銘板に表示してある電圧、周波数の電源で使用してください。  
 ・故障や発火、発熱、焼損、性能低下の原因になります。  
 各部のボルトやネジに緩みがないことを確かめてください。  
 ・故障や事故の原因になります。



### 運転開始前に確認



- 1、メインスイッチが切れていることを確認
- 2、圧力計が0MPaを指していることを確認
- 3、油圧切替弁がニュートラルの状態、変形などしていないことを確認
- 4、エアークレッチが地面と平行（支柱とは垂直）の状態であることを確認
- 5、エアークレッチのアーム部分が地面についていることを確認

### ● メインスイッチの操作

油圧ユニットを運転させる際は、メインスイッチの **ON** ボタンを押してください。

油圧ユニットを停止させる際は、メインスイッチの **OFF** ボタンを押してください。



### 危険

モータの回転部は、手や衣類が巻き込まれたり、感電の恐れがあり大変危険です。また圧力が掛かった状態で、圧力計などの加圧部を交換しようとする、その部品が飛び、ケガ・建造物の破損の危険があります。

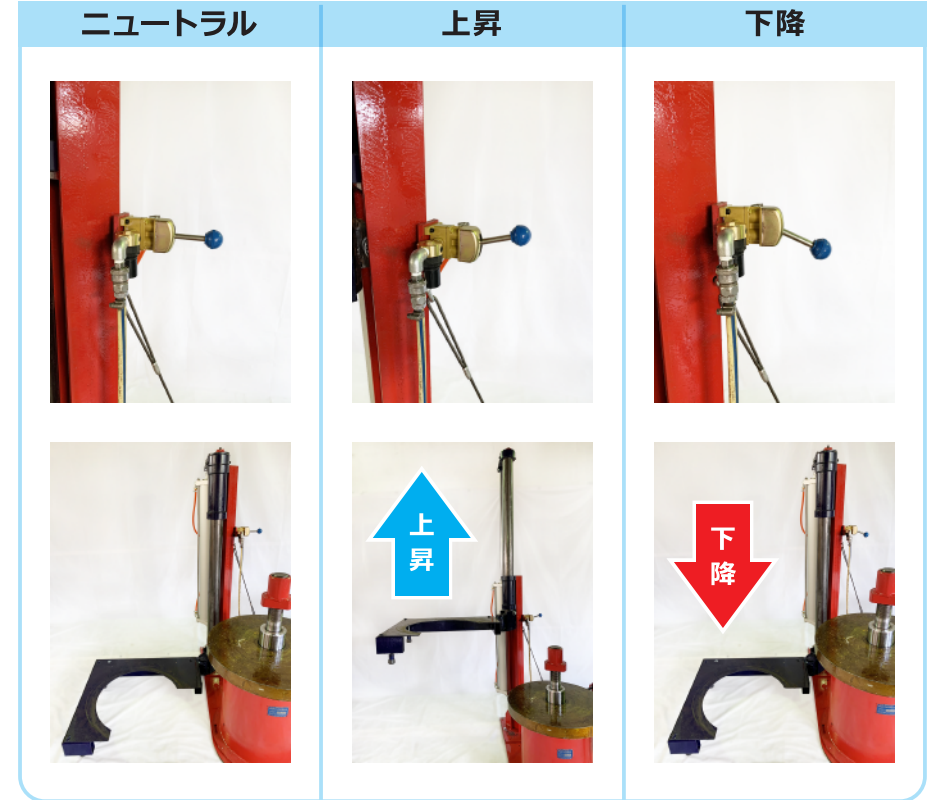
### ● 油圧ポンプの保護装置について 詳細は14ページへ

本機の油圧ポンプは最高圧力(16MPa)時で運転が緊急停止するよう設定しています。最高圧力で運転し停止した際は、油圧切替弁を上下に動かして圧力を抜いてください。圧力計が0MPaになっていることを確認後、そのままの状態だと油圧油が高温状態なので、10分程度動かさないでください。主電源が切れていることを確認し、メインスイッチのスイッチカバーを開けます。スイッチボックスの右下にある黄色い出っ張った状態のボタンを軽く押しこみ、緊急停止状態を解除し、スイッチカバーを再度取り付けます。その後主電源を入れ、正常に圧力がかかるか確認してください。

### ● エアークレッチの操作

エアークレッチのアームを上昇させる際は、エアークレッチを **上** げてください。

エアークレッチのアームを下降させる際は、エアークレッチを **下** げてください。



### 警告

エアークレッチを上昇させる前に、アーム部分に乗せているタイヤがグラつかないことを確認してください。不安定な状態でエアークレッチを起動させると、アーム部分に乗せたタイヤが落下する恐れがあるので危険です。

### エアークレッチ用ベース板について

16インチ以下のタイヤを扱う際は、エアークレッチ用ベース板をアーム部分に装着します。アーム側にボルトを差し込む穴がありますので、そちらにしっかりとはめ込んでください。ベース板は9~12インチ用、15~16インチ用の二種類ございます。